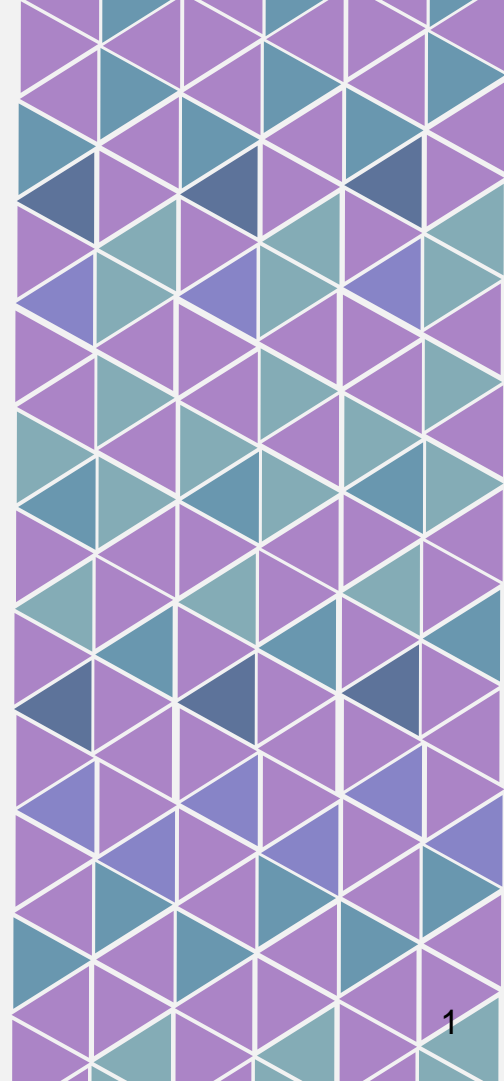


仙台若者 まちづくりラボ

グループ①仙台っ子Craftsめん



目次

p3 メンバー紹介

p4 テーマ

p5~18 テーマ決定までの流れ

p5~9 仙台の現状把握

p10~18 フィールドワーク(計3回)

p19~28 方針

p29~33 提案

p34~36 実行案

p37~39 まとめ



メンバー紹介

石垣直哉(メンター)

菅田優美

山城美緒

竹内健人

Monderu

岩間響平



テーマ

仙台に愛着を持つ人々が増えるために
子どもが原体験できる場を増やす

仙台ってどんなまち？

仙台って
本当に暮
らしやす
い？

緑は多いけ
ど公園など
集まれる場
所は多い？

SDGs指標
の尊厳でワ
ースト

公務員なら
いいけど会
社員として
は？

福岡と比
べてみよ
う

コンテンツ
が少ない？

東北の
中心地

いいところ
だけど誇れ
るものが分
からない

友達が仙
台にきた
ときにど
こを案内
する？

転勤や学生
で関係人口
が多い

仙台ってどんなまち？

仙台って
本当に暮
らしやす
い？

緑は多いけ
ど公園など
集まれる場
所は多い？

SDGs指標
の尊厳でワ
ースト

公務員なら
いいけど会
社員として
は？

福岡と比
べてみよ
う

コンテンツ
が少ない？

東北の
中心地

いいところ
だけど誇れ
るものが分
からない

転勤や学生
で関係人口
が多い

友達が仙
台にきた
ときにど
こを案内
する？

仙台がもっと面白くなるには、

仙台に愛着を持つ人が増えたらいい！

話し合い①「愛着をもつ人が増えるために」

- ・ 仙台の文化や歴史や食について話せるようになる
- ・ 仙台が本当に暮らしやすいまちになる（SDGs）
- ・ 好奇心旺盛でノリがいい人が増えて活気あるまちをつくる

仮説① 愛着を持つ人が増えるためには....

仙台に面白いものがあり、発信できればいい！！



ヒアリング①

仙台の”面白いもの”を
情報発信している

仙台つーしん
佐々木さん

に仙台の「魅力」「特別感」「独自性」を聞く。

仙台つーしんのテーマは
「この町に夢中になりたい」



ヒアリング①仙台つーしん 佐々木安久さん

仙台の魅力・特別感・独自性

「すでに仙台には”面白いもの”がたくさんある！」

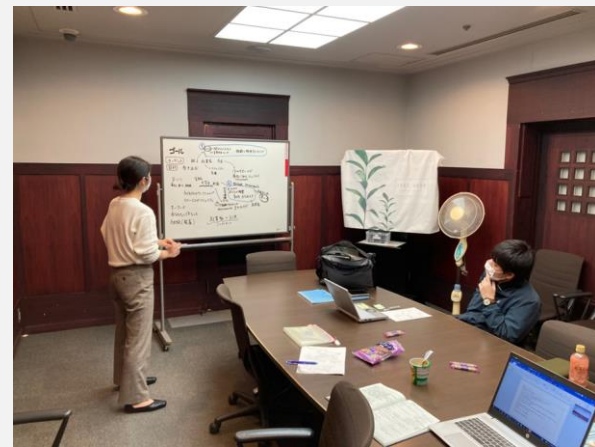


しかし・・・【課題】

「それに気づいていない、面白がることができてない」

情報発信で大切なのは
「価値を付加する仕掛け」を
「長期的&継続的」に行うこと！

仮説②愛着を持つ人が増えるためには....



発信というより、受け取り側に課題があるのではないか！

仙台の”面白さ”に気づく&ノリ良い人が増えればいい！

ヒアリング②



すでに、仙台の”面白さ”に気づいていて
ノリ良い＝仙台でアクションを起こしている「起業家」に
「なぜ仙台を選んだか」を聞く



ヒアリング②仙台の起業家：菊田将也さん

仙台を選んだ理由

知っている人・所縁のある人がいるので、

自分の声が届きやすい

プレイヤーがもっと増えてつながりの連鎖をつくりたい

どうしたら愛着が持てるか？

自分たちがその地域でなにかを創る・知る体験をすることで

コミュニティや文化を身近に感じる機会をつくる



話し合い②愛着があるのは何か？

→子ども時代の思い出、原体験がある、思い出の人がそこにいる、安心できる



仮説③ 愛着を持つ人が増えるためには....

愛着を持てるような体験を若いうちにすることが必要??



ヒアリング③青葉区中央市民センター

愛着醸成のために、子供たちが
「体験できる」取り組みを行っている場所

→ 青葉区中央市民センターにヒアリング



ヒアリング③青葉区中央市民センター 間宮 智也さん

現状

「内部の子どもたちにはアプローチできている（＝強み）」

課題

「市民センターに若者がいない」

理想

「若者も来ること」
（多世代交流によるコミュニティ維持のため）

方針

方針



既にある”面白いもの”の**気づく**ための取り組みが必要



愛着の持てる体験を**若いうち**にすることが必要



内部の子どもたちへの愛着醸成はできている強みを活かす

市民センターを起点とした多世代交流

内部と外部

仙台の市民センター利用圏域に
ずっと在住

仙台の外から
仕事・親の都合上来た

	内部	外部
子ども	市民センターは既に 様々な活動でアプローチ ▶ポテンシャルあり	転勤者の子ども
親（若者）	昔から仙台に住んでいる人	転勤者

小学生

子ども

市民センターは既に
様々な活動でアプローチ
▶ポテンシャルあり

転勤者の子ども

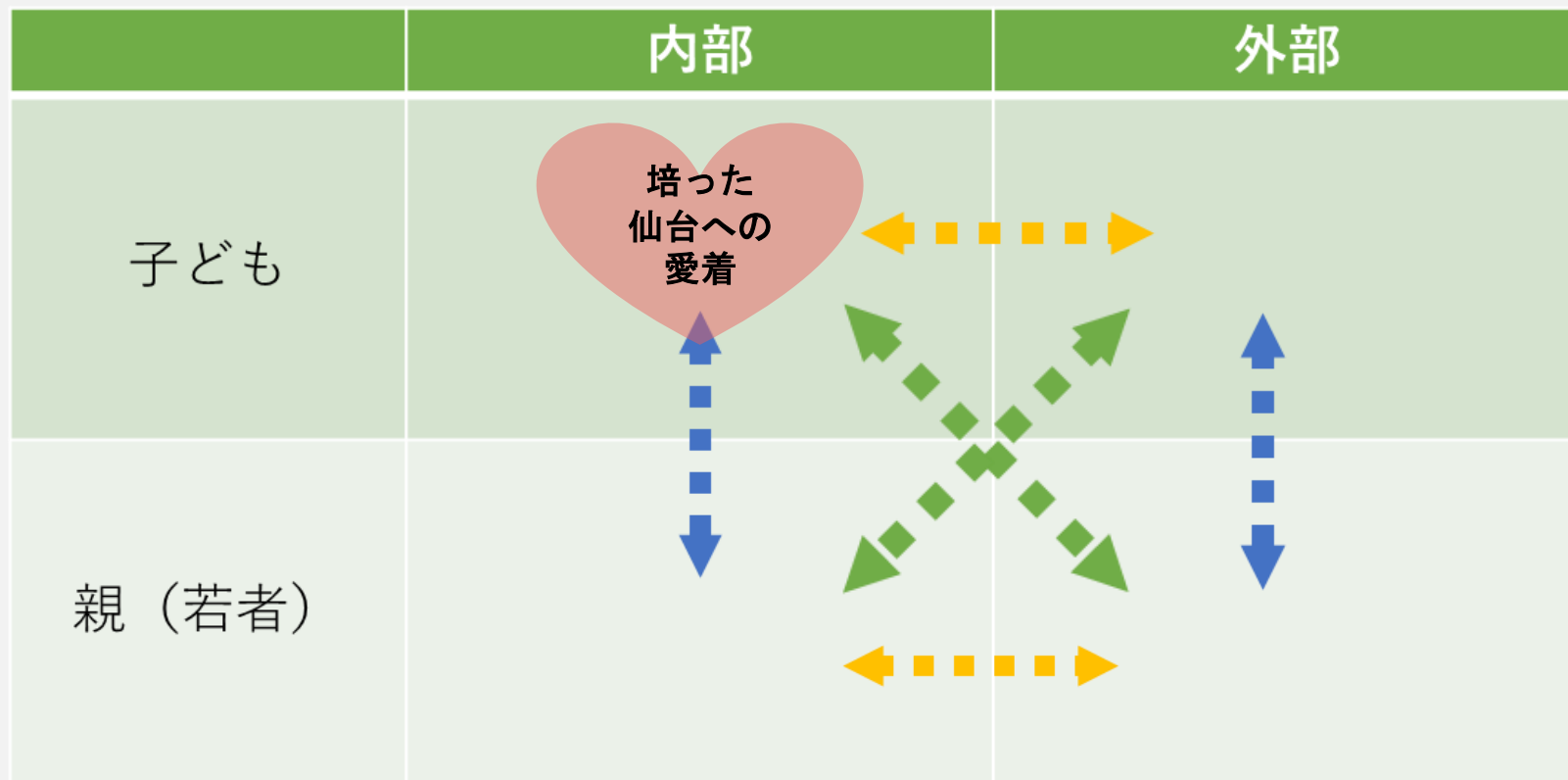
親（若者）

昔から仙台に住んでいる人

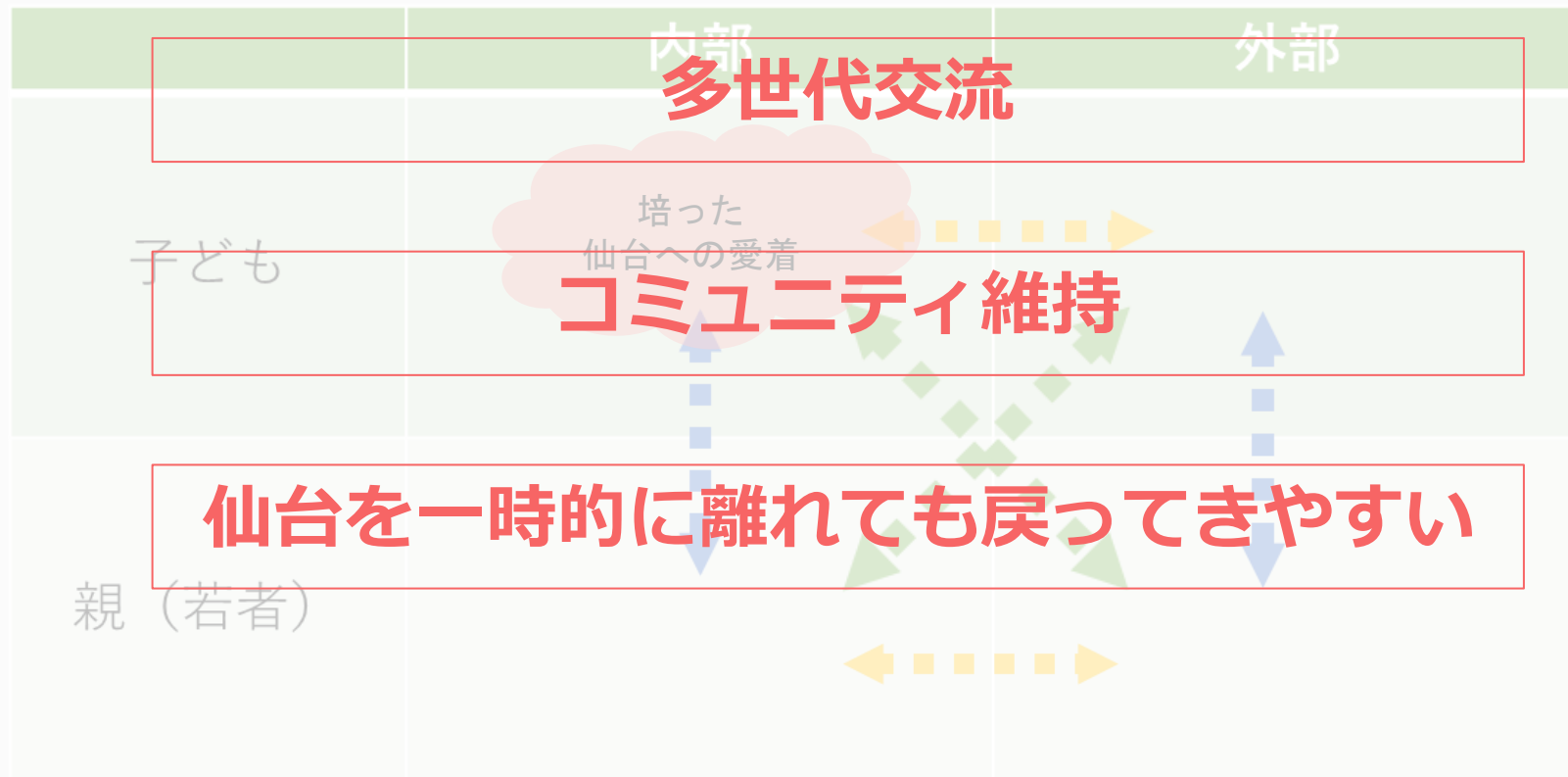
転勤者

若者
20代
~40代半ば

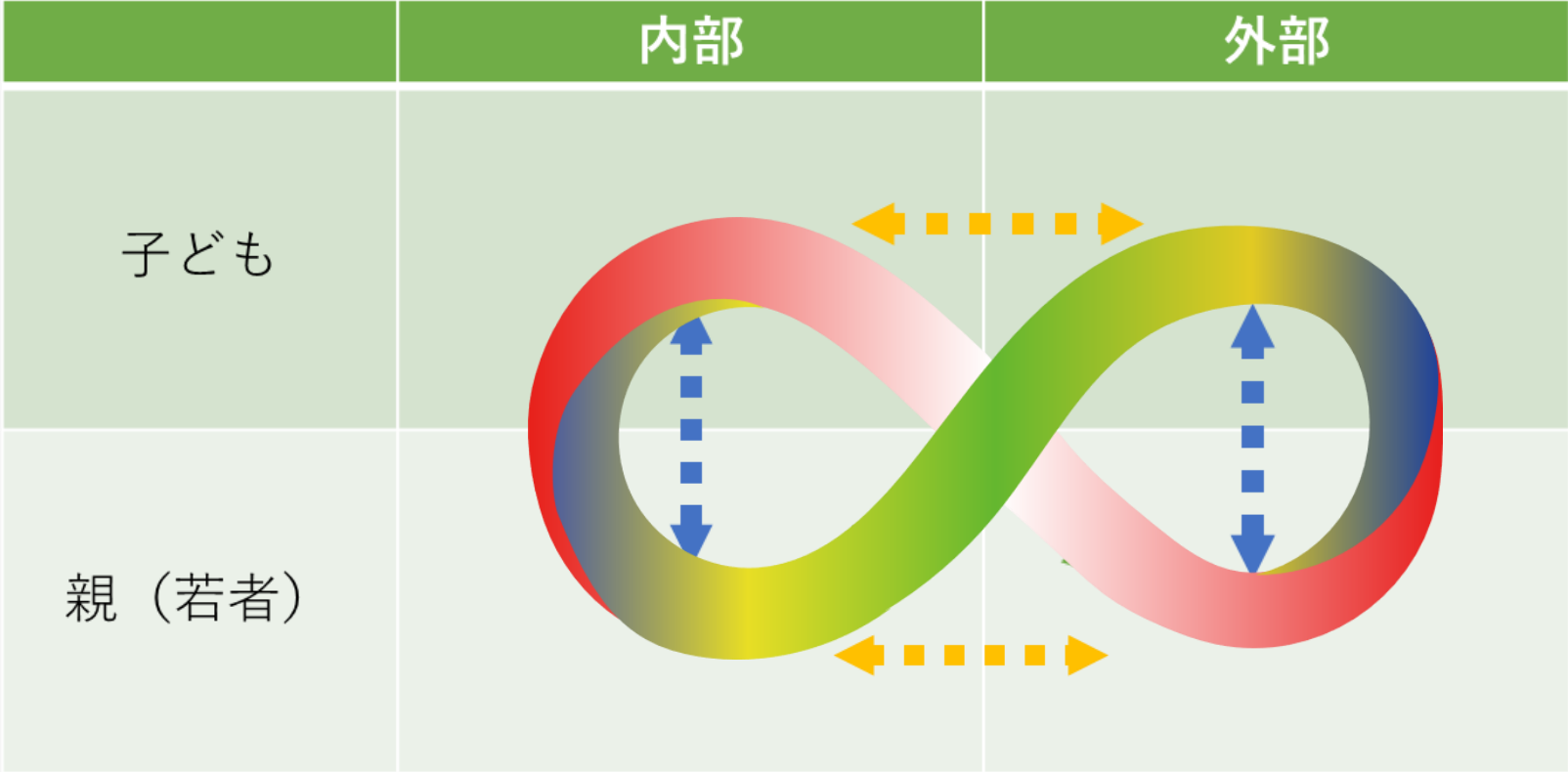
交流 子どもと親



交流の意義

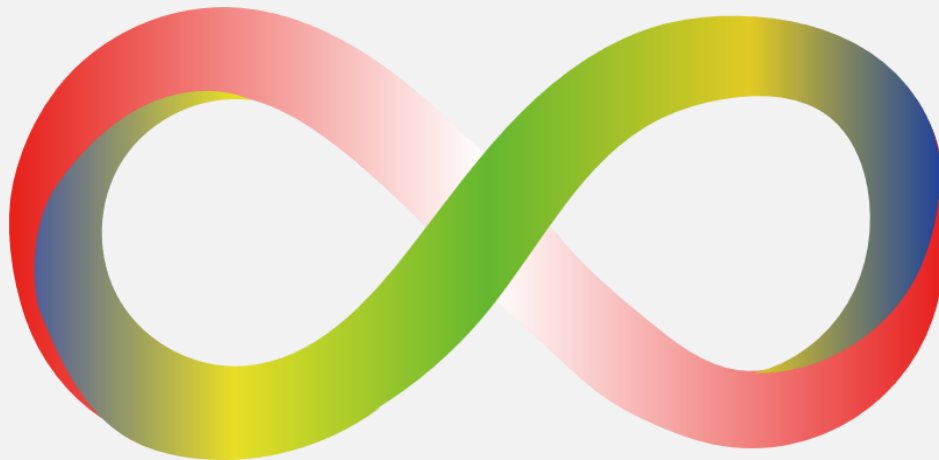


Sendai Infinity Plan



提案

Sendai Infinity Plan



Sendai Infinity Plan



ヨコの繋がり

・外部の子どもと学ぶ・体験する



タテの繋がり

・子どもから親に伝える



ナナメの繋がり

・家族ぐるみの関係

繋げる意義

地域への愛着

地域へ取り込むフックになる

ヨコの繋がり

・外部の子どもと学ぶ・体験する

外部

仙台に残りたい子どもが
親に働きかけられる

内部

学び・体験を親に話すこと
で自己肯定感を得られる

共通

面白い所を親子で教えあう

タテの繋がり

・子どもから親に伝える

大人の数が増える

▶安心感

親が子どものコミュニティを知る

▶安心感、いじめ防止

ナナメの繋がり

・家族ぐるみの関係

繋がりごとの提案内容

一緒に何か体験する
教えるのは、内部の子ども

ヨコの繋がり

• 外部の子どもと学ぶ・体験する

仙台で将来を過ごすイメージ
UP

親に教えたいくなるような内容

例) 伝統、就業体験、おすすめスポット

タテの繋がり

• 子どもから親に伝える

子どもの活動・発表を
親が見るような提案

ナナメの繋がり

• 家族ぐるみの関係

提案

Sendai Infinity Plan

Sendai Infinity Plan ～仙台っ子フォトロゲイニング～



1

【発見！私のまちの撮影スポット】

チームで町に出かけ、フォトロゲイニングに使用する撮影スポットを見つけるイベント

2

【実践！フォトロゲイニング】

イベント1で見つけた撮影スポットを使って、実際にフォトロゲイニングのイベントを実施

3

【発信！仙台の良いところ】

1・2のイベントで撮影された写真を、SNSで発信

目的

- ★身近な地域の再発見（仙台の良いところに気づく）
- ★住んでいる場所、年代を超えた（タテ・ヨコ・ナナメ）つながりの強化
- ★五感で感じることでの原体験を得る
- ★運動不足解消
- ★仙台の良さを外に発信する



Sendai Infinity Plan ～仙台っ子フォトロゲイニング～



フォトロゲイニングとは？

地図をもとに、時間内にチェックポイントを回り、得点を集めるスポーツ。
チームごとに作戦を立て、チェックポイントでは、見本と同じ写真を撮影。
チェックポイントの数字がそのまま得点となり、より合計点の高いチームが勝利。



みんなで移動



同じ写真を撮影



合計点の高いチームが勝利

Sendai Infinity Plan ～仙台っ子フォトロゲイニング～

参加者やテーマによってアレンジも無限



地元の子供 × 外部から来た子供

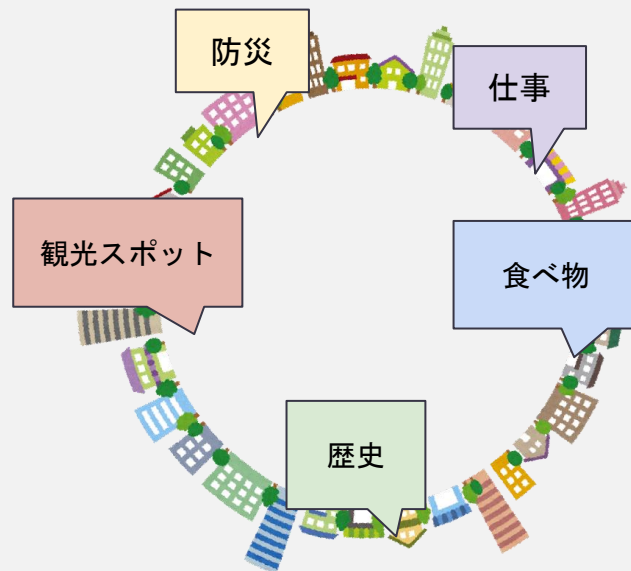
＝ ヨコのつながり

地元の家族 × 地元の家族

＝ タテ/ナナメのつながり

日本人/外国人観光客 × 地元住民

＝ ナナメのつながり



Sendai Infinity Plan ～仙台っ子フォトログейニング～



継続的に取り組むことで、SDGs課題の解決にもつながる



【身体の健康】

- ・運動習慣につなげる
- ・メタボの防止



【仲間】

- ・学外コミュニティの発見
- ・子供のコミュニティを親が知る



【心の健康】

- ・いじめの防止



実行案

具体的なアクション

グループとして何をするのか？

→ [市民企画講座](#)

- ・ 市民活動センターで既に実施されている「市民企画講座」に参加
- ・ 新しい形式のフォトロゲイニングを企画、実行

* 運営費用など市民センターの支援が必要

* 外部の子どもの参加・・・内部の子どもが誘うor学校で先生が勧める

対象範囲

ファーストステップ

市民センター1つ（実験的に）



最終的なゴール

市民センター全て



まとめ

理想の仙台像



原体験が得られる場ができる



子どもたちがそれぞれ輝く場/個性を発揮する場を見つけられる



将来の地域をつくるのは子どもたち



さまざまな特徴を持った子どもたちやその家族が合わさって地域を形作る



各地域が集結して仙台全体が愛着のある町になる



スタンドグラス（みんなが集まる場所）になっていく

最後に・・・

原体験が得られる場ができる

↓
子どもたちがそれぞれ輝く場/個性を発揮する場を見つけられる

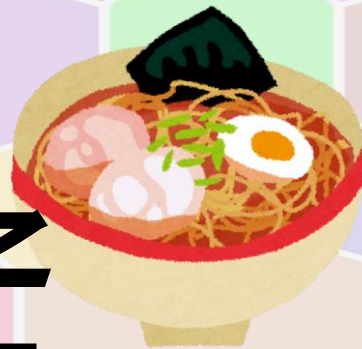
↓
将来の地域をつくるのは子どもたち

↓
さまざまな特徴を持った子どもたちやその家族が合わさって地域を形作る

↓
各地域が集結して仙台全体が愛着のある町になる

↓
ステンドグラス（みんなが集まる場所）になっていく

仙台っ子



Craftsめん

ご清聴ありがとうございました！

